

# 豊能町の財政状況 令和元年度決算



豊能町 総務部 行財政課

# もくじ

①財政とは	3ページ
②歳入はどのくらいあるの？	4ページ
③歳入はどのように変化しているの？	5ページ
④歳出の内容は？（目的別）（1）	6ページ
⑤歳出の内容は？（目的別）（2）	7ページ
⑥歳出の内容は？（性質別）	8ページ
⑦具体的なお金の使い道は？	9ページ
⑧歳出はどのように変化しているの？	10ページ
⑨自由に使えるお金はどのくらいあるの？～経常収支比率～	11ページ
⑩借金の返済は大丈夫？～実質公債費比率～	12ページ
⑪将来の負担はどのくらいあるの？～将来負担比率～	12ページ
⑫財政に余裕はあるの？～財政力指数～	13ページ
⑬基金（貯金）はどのくらいあるの？	14ページ
⑭町債（借金）はどのくらいあるの？	15ページ
⑮豊能町の課題	16ページ
⑯豊能町の取組み	17ページ

とよのんについて

とよのんは豊能町のイメージキャラクターです!!

生まれた日：10月4日

性別：たんぽぽ

好きな食べ物：たんぽぽのてんぷら

たんぽぽ茶

豊能産のお米と野菜

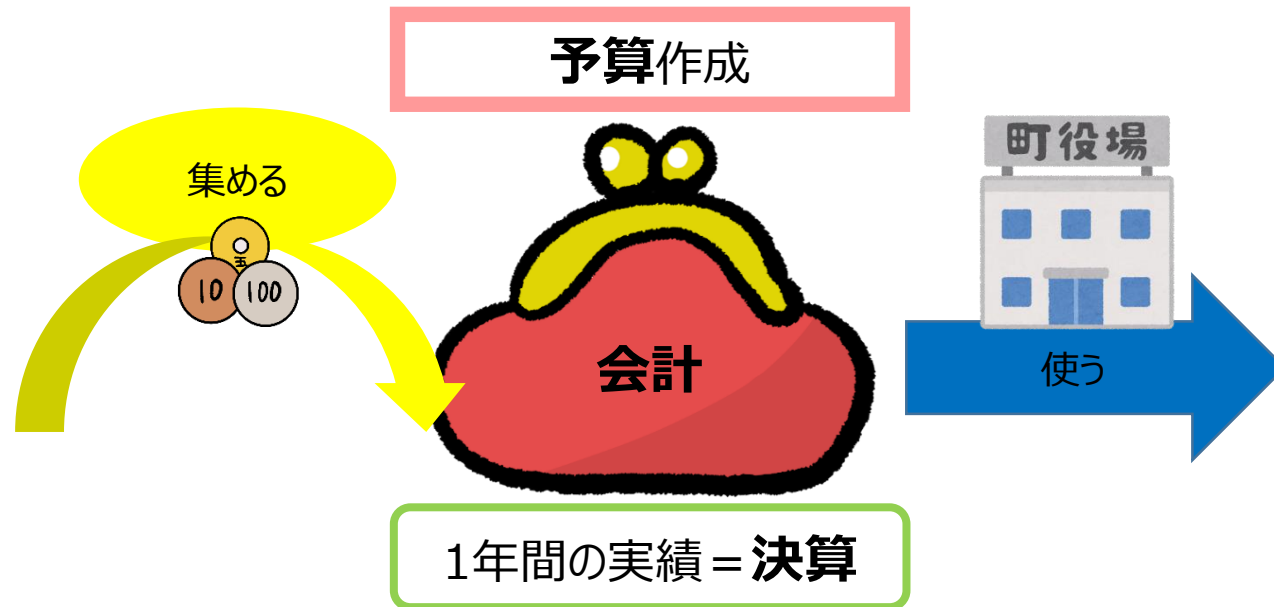


# ① 財政とは

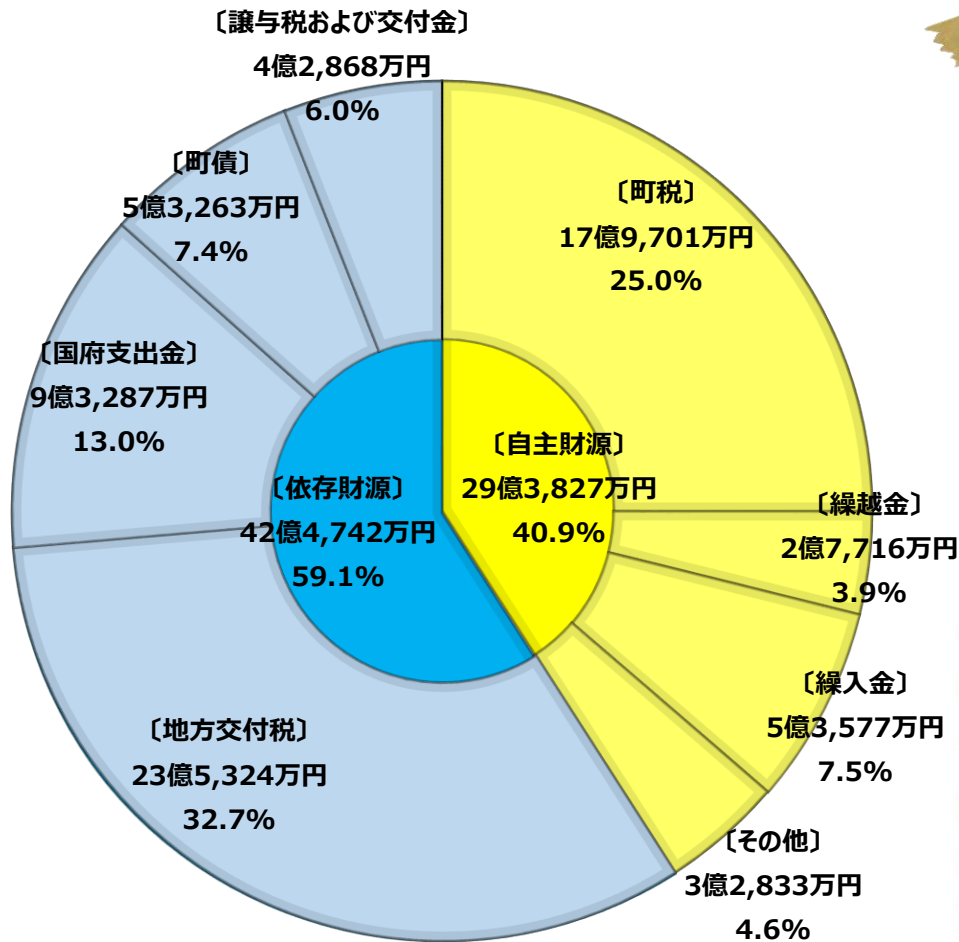
**財政**とはお金のやりくりのことです。町運営のために欠かせないお金をどのように集め、どのような事業に使うかを必要性や優先順位を考えながら決めています。その計画のことを**予算**といいます。

お金が入り出すお財布のことを**会計**といい、一般会計と特別会計に分けて管理しています。

集めたお金には町民の皆様から納めていただいた税金も含まれているため、お金の流れを明らかにする必要があります。1年間のお金の実績を表したものを**決算**といい、どのくらいのお金を集め、どのような事業にいくら使ったのかを示しています。



## ② 歳入はどのくらいあるの？



※構成比は単純四捨五入であるため、合計が100%になっていません。

★税金など町に入る1年間の収入のことを歳入といいます。  
令和元年度歳入は**71億8,569万円**で、  
前年度より**5億2,080万円**増加しました。

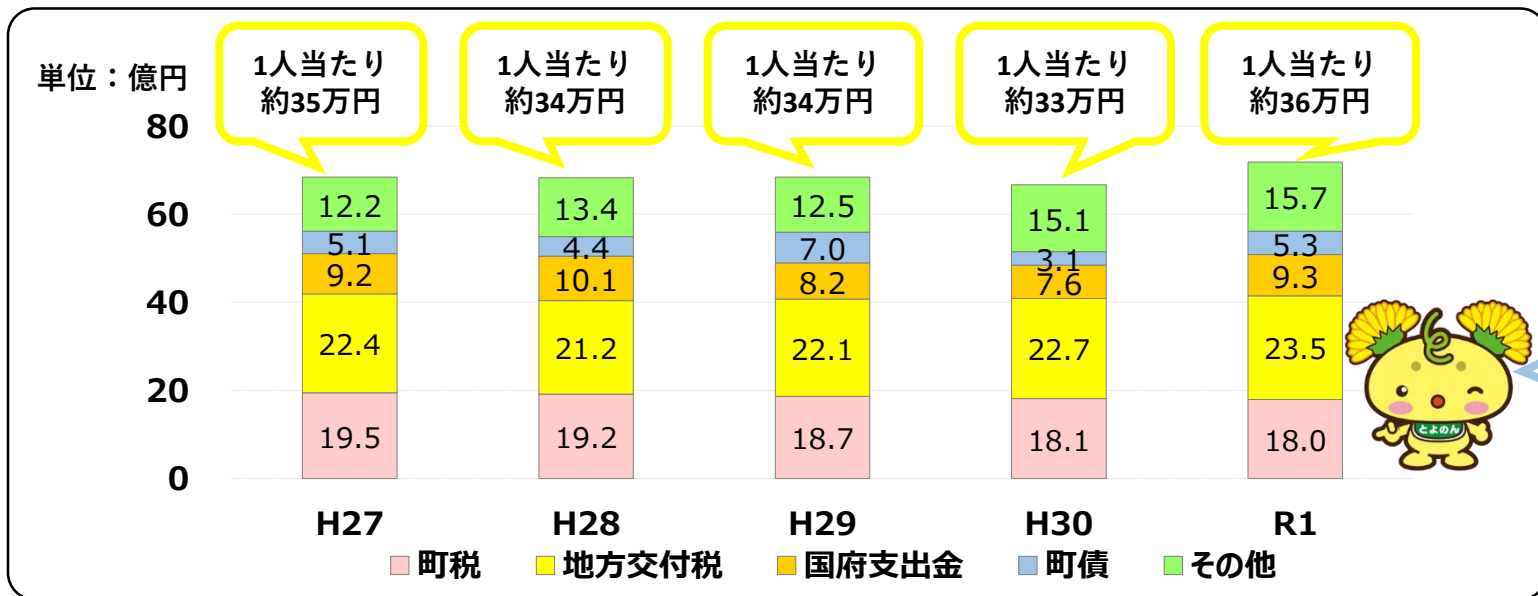
- ・〔繰入金〕：主に基金（町の貯金）の取り崩し
- ・〔地方交付税〕〔国府支出金〕〔譲与税および交付金〕：国や大阪府から交付されるお金
- ・〔町債〕：必要な事業を行うために町が借るお金

★歳入は自主財源と依存財源に分けられます。

- ・自主財源：町が徴収し、比較的自由に使用できるお金
- ・依存財源：国や大阪府などから交付されるお金

★比較的自由に使える自主財源が多いほど自主的です。また、国や大阪府に依存しないお金であるため、安定性のある行政運営が可能になります。

### ③ 歳入はどのように変化しているの？



町税の約6割は町民税が占めているよ。

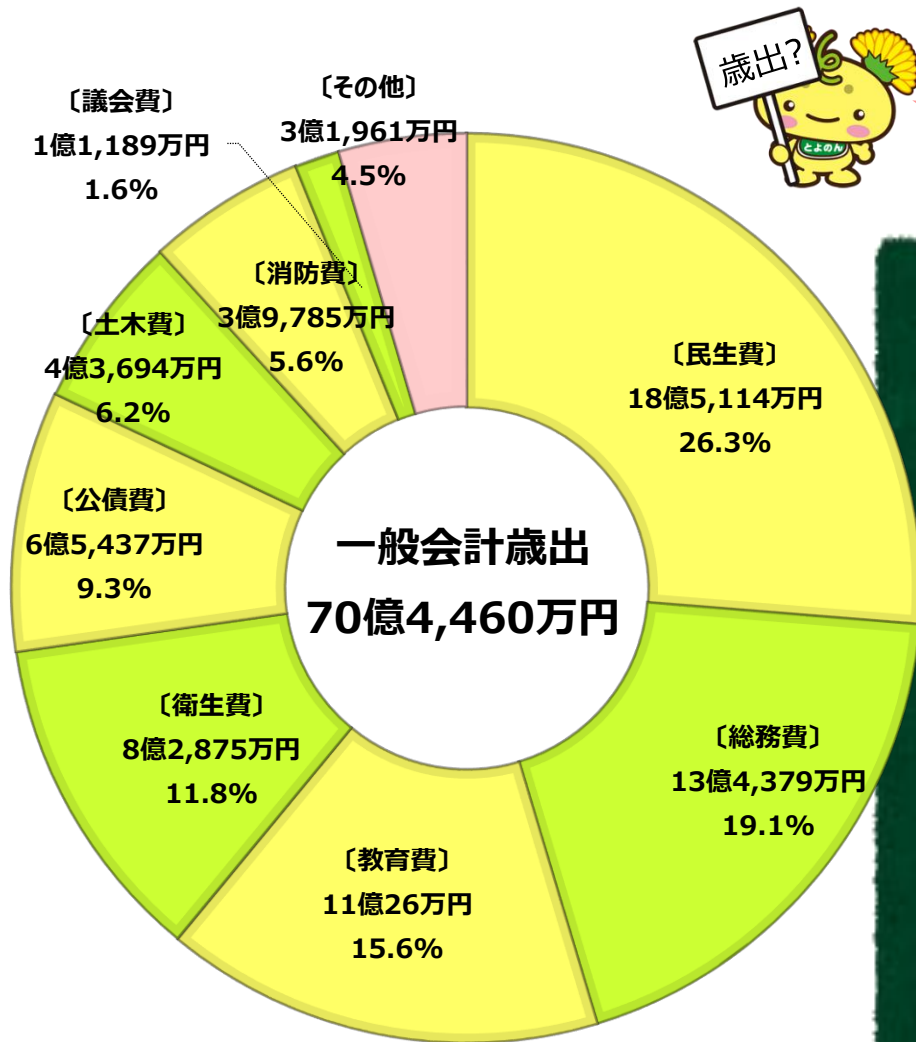
人口減少や高齢化の影響で、町税は毎年減少しています。それを補うために、依存財源である地方交付税や国府支出金が増加傾向にあります。その他の増加に関しては、基金の取り崩しである繰入金の増加が大きな要因です。

令和元年度は、スポーツセンターシートスや小学校の空調整備のため、町債の借入を行ったことなどから、歳入が増加しています。

本町の自主財源は減少傾向であり、歳入の半分以上は依存財源に頼っている状態です。今後、新型コロナウイルス感染症の影響で、地方交付税や国府支出金などの国や大阪府から交付されるお金が減少する可能性もあります。そのため、人口増加策など、安定した収入増加策を検討し、自主財源の更なる確保に努めなければなりません。



## ④ 歳出の内容は？（目的別）（1）



歳出とは町の「1年間の支出」のことで、目的別と性質別に分けられるよ。まずは「目的別」から見ていこう!!

目的別とは、各行政分野ごとに分類したものです。

- ★民生費：高齢者や障害者、児童福祉などにかかるお金
- ★総務費：企画、徴税、戸籍、選挙、統計などにかかるお金
- ★教育費：幼稚園、小中学校や生涯学習、文化、スポーツ振興などにかかるお金
- ★衛生費：健康づくり、ごみ処理などにかかるお金
- ★公債費：町の借金を返済するお金
- ★土木費：道路、河川などの建設や管理にかかるお金
- ★消防費：消防活動にかかるお金
- ★議会費：議会活動にかかるお金

→次のページで、前年度比を紹介します。

## ⑤ 歳出の内容は？（目的別）（2）

単位：億円



令和元年度の歳出総額は70億4,460万円で前年度より6億5,687万円増加しました。

- ★教育費：2億1,171万円増加
- ★総務費：1億6,910万円増加
- ★公債費：9,284万円増加
- ★民生費：6,789万円増加
- ★消防費：4,319万円増加
- ★土木費：259万円増加
- ★議会費：103万円減少
- ★衛生費：5,258万円減少
- ★その他：1億2,316万円増加

前年度比で1億円以上増加している教育費と総務費の増加理由を分析するよ。

### ①教育費

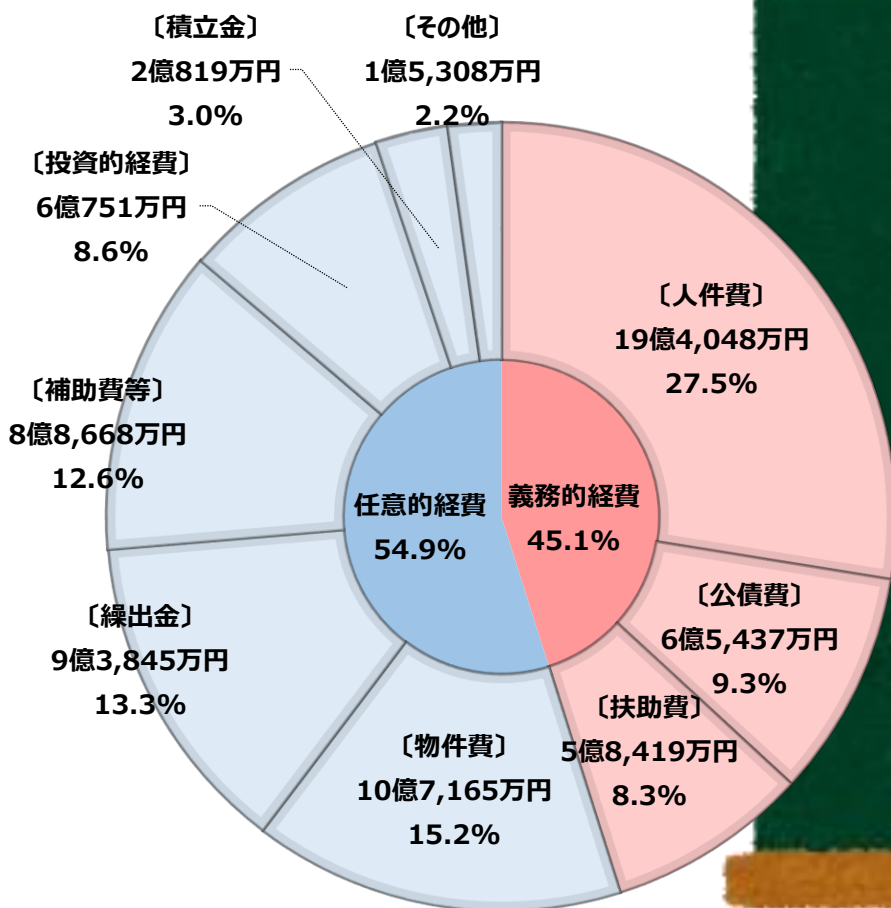
→スポーツセンターシートスや小学校4校の空調設備を整備したことによる建設事業費の増加

### ②総務費

→退職者の増加による退職手当の増加 など



## ⑥ 歳出の内容は？（性質別）



性質別とは、経費を人件費や物件費などに分類したものです。

★義務的経費とは支出が義務づけられ、簡単に減らすことができない費用のことです。

- 人件費：職員給与や退職金へ使うお金
- 公債費：町の借金を返済するお金
- 扶助費：児童、高齢者、障害者などを支援するお金

★任意的経費とは義務的経費以外の自由に使えるお金のことです。

- 物件費：光熱水費、委託料など支出の効果が短いものに使うお金
- 繰出金：一般会計と特別会計などの会計間で移動するお金
- 補助費等：各種団体に対する助成金や負担金
- 投資的経費：道路や施設の整備など将来に残るものに使うお金
- 積立金：健全な財政運営のため、備えとして積み立てるお金

義務的経費は45.1%だね。  
この数字が大きくなると、自由に使える  
お金が少なくなるんだ。





# ⑦ 具体的なお金の使い道は？

## シートス空調設備改修事業

スポーツセンターシートスの空調設備の改修を行い、施設利用の促進を図りました。



1億49万円

## 空調機器設置事業

夏の猛暑対策として、小学校4校の普通教室に空調設備を設置しました。



5,986万円

## ときわ台駅前線整備事業

円滑な交通手段の確保に資するため、ときわ台駅前駐輪場移設に伴う跡地の整備工事を実施しました。



3,791万円

## その他の事業

- ・通学路等交通安全整備事業 1,946万円
- ・消防分団車両更新事業 1,265万円
- ・女性活躍推進事業 1,004万円  
など



# ⑧ 歳出はどのように変化しているの？



普通建設事業費とは建設事業にかかる投資的経費のことだよ。

箕面市へ消防事務を委託したことによる負担金や、土地を取得したことによる水道事業会計への補助金増加により、補助費等が増加しています。

防災行政無線を整備したことにより、普通建設事業費が増加しています。

ときわ台駅バリアフリー化整備費補助金や、大阪広域水道企業団統合に伴う水道事業会計への補助金増加により、補助費等が増加しています。

スポーツセンターシートスや小学校での空調設備整備により、普通建設事業費が増加しています。

単位：億円

80  
60  
40  
20  
0

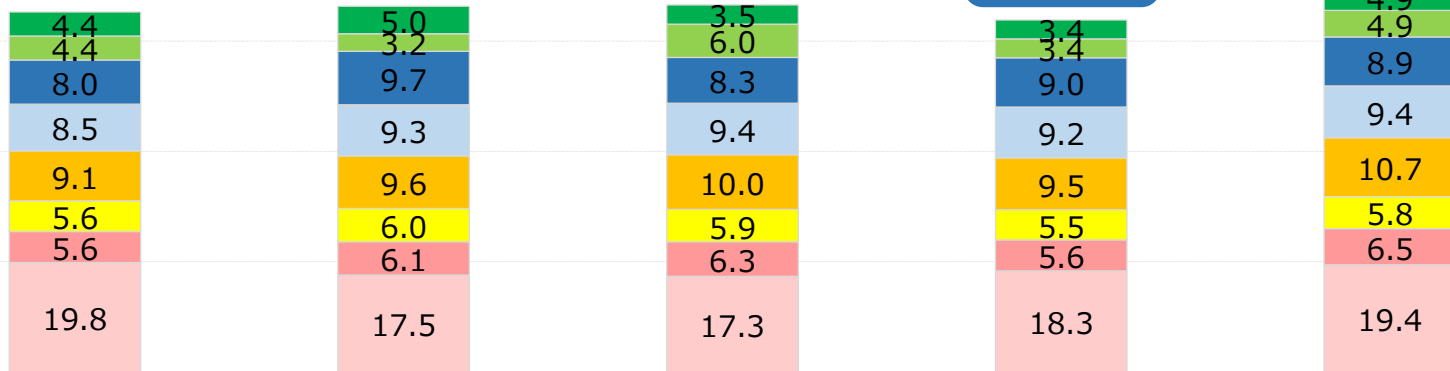
1人当たり  
約33万円

1人当たり  
約33万円

1人当たり  
約33万円

1人当たり  
約32万円

1人当たり  
約35万円

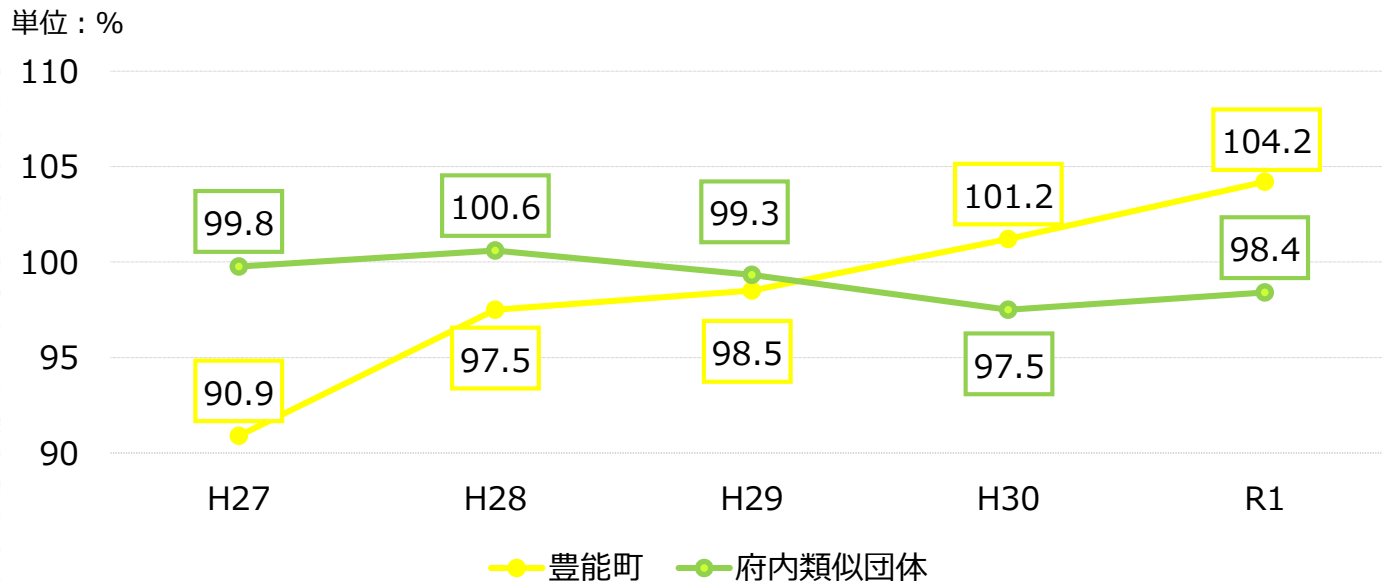


■ 人件費  
 ■ 公債費  
 ■ 扶助費  
 ■ 物件費  
 ■ 繰出金  
 ■ 補助費等  
 ■ 普通建設事業費  
 ■ その他

平成28年度に箕面市との消防広域化事業を開始したことで、人件費が減少していますが、平成30年度以降は退職手当の増加に伴い、人件費が増加しています。

## ⑨ 自由に使えるお金はどのくらいあるの？～経常収支比率～

経常収支比率とは、財政のゆとりを表すものです。町税などの毎年度入ってくる収入が、義務的経費のように毎年度支出するお金に充てられる割合を示しています。この比率が高いほど新しい事業や自由に使えるお金が少なくなります。



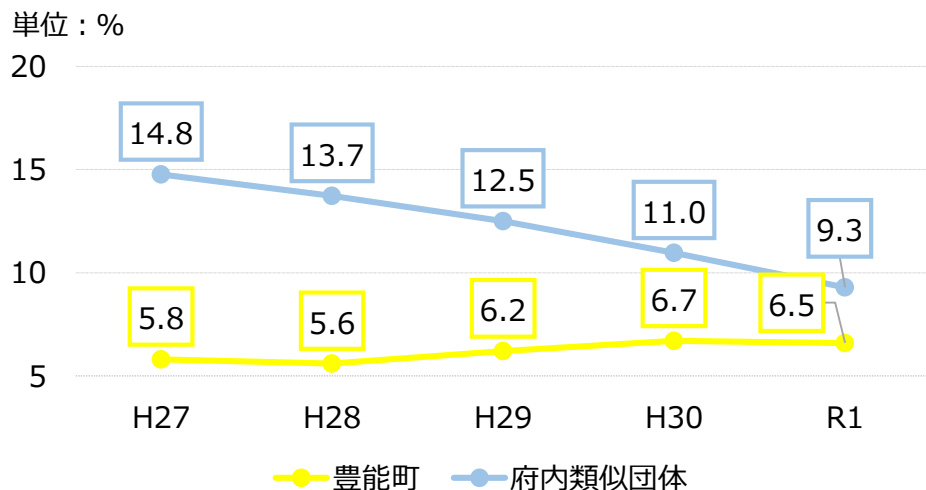
本町では経常収支比率が毎年増え続け、令和元年度は104.2%で前年度に比べて3.0ポイント増加しました。府内類似団体と比べると、平成30年度に数値が上回る結果となっています。

どちらも主な原因は、人口急増期に入庁した職員が順次定年退職を迎えたことにより、退職手当が増加したためです。

100%を超えることは財政のゆとりがないことを意味します。毎年度入ってくる収入だけでは義務的経費をまかなえていない状態です。この状況を改善するために、「豊能町行財政改革プラン2019」に取り組んでいます。詳しくは17ページ⑩豊能町の取組みをご覧ください。

## ⑩ 借金の返済は大丈夫？ ～実質公債費比率～

実質公債費比率は、年間収入に対しての借金返済額の割合を表しているよ。

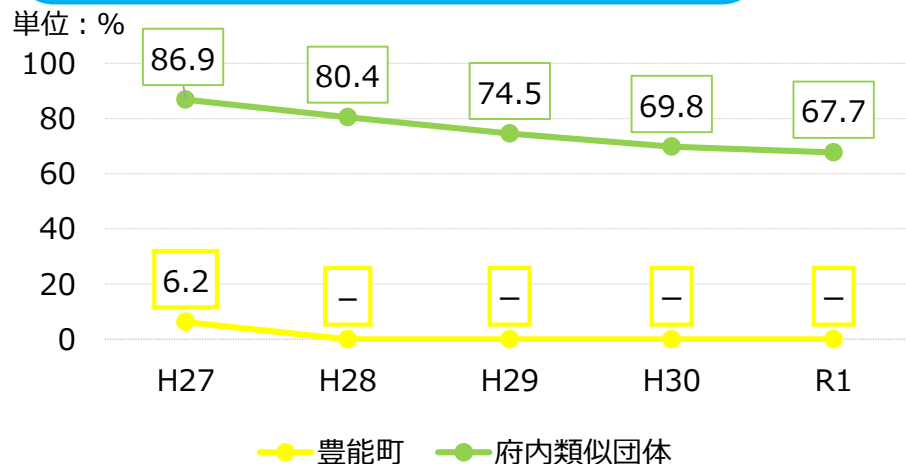


本町では増加傾向にありましたが、令和元年度は6.5%で前年度に比べて0.2ポイント改善しました。主な原因は、旧豊悠プラザ整備事業の借金返済終了や猪名川上流広域ごみ処理施設の借金返済額の減少によるものです。

府内類似団体と比べると数値は良いですが、保幼小中一貫校の整備や老朽化した公共施設の整備が未完であることを考えると、今後借入を行い、借金が増加する恐れがあります。

## ⑪ 将来の負担はどのくらいあるの？ ～将来負担比率～

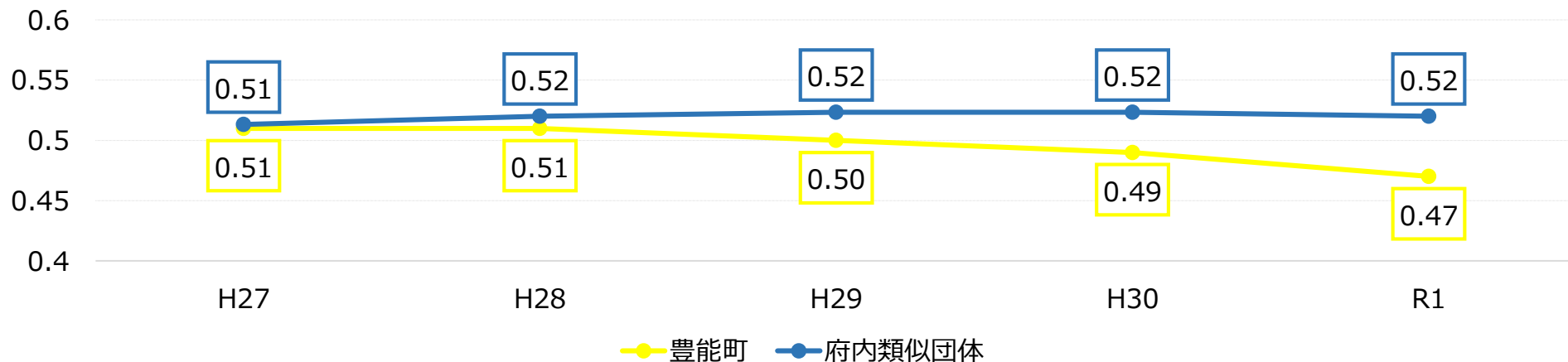
将来負担比率とは、借金返済などの将来負担しなければならないお金が、年間の収入に対してどのくらいあるかを表したものだよ。



本町では平成28年度から「-」になっています。これは将来負担額より負担額に充てられるお金の方が多いためです。

府内類似団体より健全な状態ですが、保幼小中一貫校の整備や老朽化した公共施設の整備が未完であるため、今後の数値に注意していく必要があります。

## ⑫ 財政に余裕はあるの？～財政力指数～



財政力指数とは、町が標準的に支出するお金のうち、自力でまかなえる割合を示すものだよ。  
1に近いほど財政に余裕があるといえるよ。

本町は減少傾向にあり、令和元年度は0.47で前年度より0.02減少しています。原因は人口減少や高齢化による町税の減少によるものです。

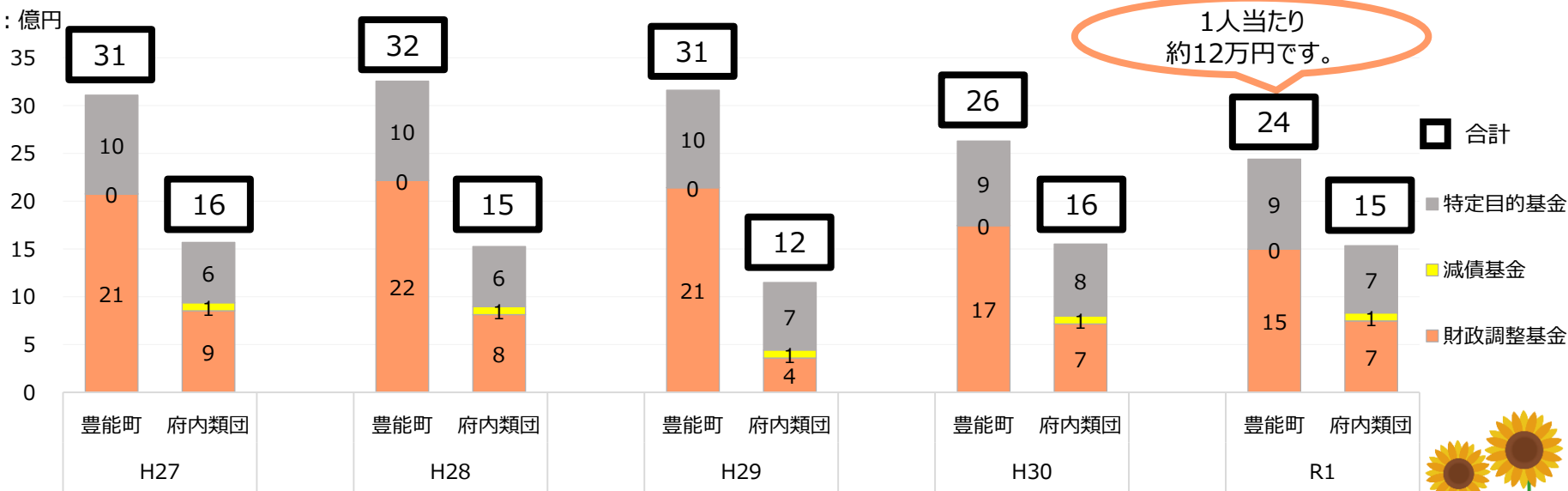
府内類似団体と比べても低い数値となっており、財政に余裕があるとは言い難いです。

町税が増加するよう人口増加策など、安定した収入増加策を検討すると同時に、施設の再編や再配置などを行い、歳出を最小限に抑える必要があります。



# ⑬ 基金（貯金）はどのくらいあるの？

単位：億円



★財政調整基金とは、景気悪化による歳入の減少や災害による歳出の増加などに備える貯金のことです。

本町では減少傾向にあり、令和元年度は14億9,675万円の前年度より2億4,590万円減少しています。これは退職手当や医療費などの社会保障費が増加したことが主な原因です。歳出が歳入を上回ったために財政調整基金を取り崩す結果となりました。

★減債基金とは、借金返済に備えて積み立てる貯金のことです。

本町の令和元年度残高は約68万円です。

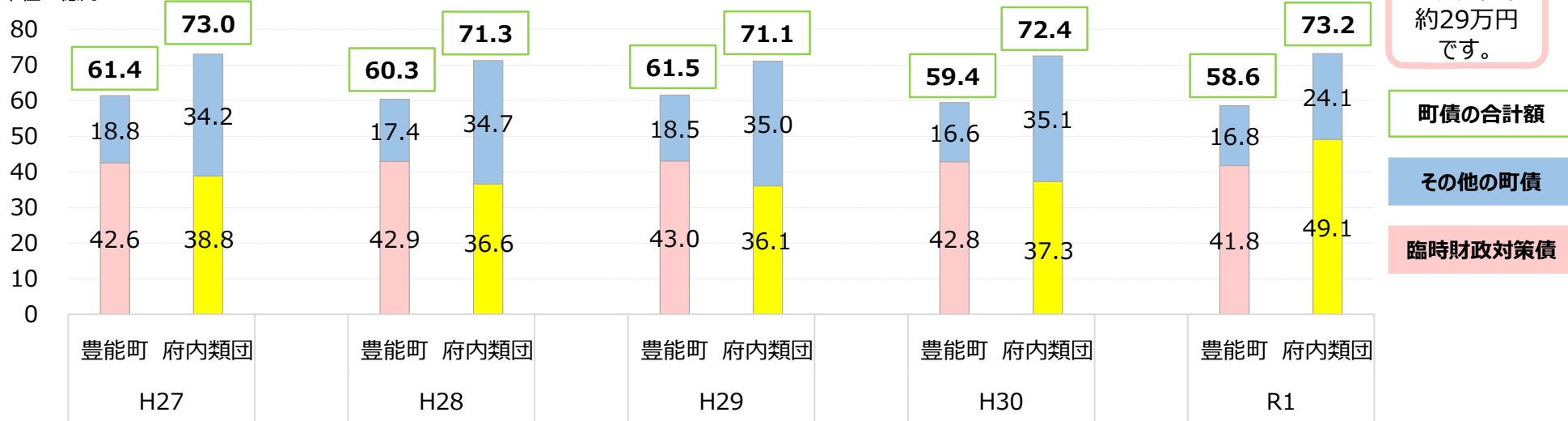
★特定目的基金とは、特定の目的のために積み立てたお金を、その使い道に限って取り崩すことができる貯金のことです。

★平成26年度から行政改革を行うなど、歳出削減に努めたため、基金が府内類似団体より多い状態です。しかし、基金を取り崩す状態が続いているため、歳出抑制を図り、基金を減少させないよう努めていくことが重要となります。



# ⑭ 町債（借金）はどのくらいあるの？

単位：億円



一人当たり  
約29万円  
です。

町債の合計額

その他の町債

臨時財政対策債

町債とは町が借りるお金のことです。  
令和元年度は58億5,688万円と前年度より8,612万円減少しています。旧豊悠プラザ整備事業の返済終了が主な原因です。町債残高の内、臨時財政対策債が約7割あります。  
平成29年度を除いて府内類似団体より下回っている状態が続いていますが、保幼小中一貫校の整備や公共施設の再配置などにより、今後増えていく見込みです。

臨時財政対策債は、地方交付税の代わりになるお金のことだよ。  
①国の財源不足により、地方交付税の一部を借金に振り替える  
②本来国から地方交付税として交付されるお金なので、借金返済額は後年度の地方交付税で全額まかなわれる  
という仕組みなんだ。



# 15 豊能町の課題

## ①老朽化した公共施設の未改修

平成28年度に作成された豊能町公共施設等総合管理計画では、40年間の公共施設更新費用総額は363.6億円で、1年当たりの負担額は約9.1億円となっています。公共施設更新費用を含む普通建設事業費の過去5年間平均は約4.4億円となっており、このままでは約4.7億円不足するため、現在の規模で所有していくことが難しくなります。



## ②少子高齢化に伴う歳入減少、歳出増加

今後歳入面では、働き手の減少に伴った町税の減少が懸念されます。

一方歳出面では、高齢化に伴い、医療福祉関係の社会保障費（扶助費）などの増加が見込まれており、厳しい財政状況が予測されます。

- ①若年層や子育て世代に対する施策で人口増加を図る
- ②ふるさと納税を充実させるなど、町税以外の収入を確保することも大切だね。



今後、公共施設整備費用や扶助費などが増加することを考えると、歳出抑制には限界があります。根本的に課題を解決するため、本町では「豊能町行財政改革プラン2019」に取り組んでいます。次のページで詳しく紹介します。





## ⑯ 豊能町の取組み

★本町では、将来的に基金の取り崩しに頼らない健全な財政運営を目指すために、「豊能町行財政改革プラン2019」に取り組んでいます。

### 1. 組織機構の改革

組織編成や業務担当部署の見直しを行う。また、効率的な人員配置のために任用基準を見直す。

### 2. 行政経営の改革

自治体クラウドの推進や消防通信システムの共同運用を検討する。また、国保診療所、右近の郷の運営や、ごみ収集業務の民間委託を検討する。さらに、各事業の評価結果を適切に予算に反映し、事業の取舍選択を図る。

### 3. 財政運営の改革

広告収入の増加、駐車場有料化、遊休地売却やごみ収集の有料化などを検討し、歳入増加を目指す。また、歳出を減少させるため、公用車である町バスの廃止、早期退職者に通常より多くの退職金を支払う制度など人件費の抑制方法を検討する。

### 4. 施設運営の改革

公共施設再編検討委員会を設置し、公共施設のあり方を検討する。

町民の皆様には、町税を納付期限内に納めていただくなどの、ご協力をよろしく  
お願いいたします。  
最後までご覧いただきありがとうございました。

